

NPO あんしん

自立は生活と職が両輪 障害者支援を開設

知的障害者デイサービス
やトイレットペーパー製造
など障害者支援を行うNPO
Oあんしん(本田欣二郎理
事長)は男
性障害者対
象のグルー
プホームG
H「若竹」
を十日町市
稻荷町に3
月に設立、
今月1日県
の認可を受
け開所式を
実施。本田

理事長は「障害者の自立に
は生活の場と働く場の両輪
が必要。仕事だけでなく生
活、サービスの場を増やす」

と今後は女性障害者対象の
GH設立など、さらに積極
支援を行う方針だ。
「若竹」は知的・身体、



十日町市稻荷町に発足したグループホーム若竹(1日)

精神の3障害者が対象。NPO運営GHで3障害者入
れ施設は県内初。「男らし
く、竹のように伸びていき
たい」との思いを込めた。
約40坪の民家を協力者がホ
ランテイス改造、6畳個室
が6室、家賃6万3千円(食
費込)、定員6人。現在24
歳から65歳の軽度の知的・
身体障害者4人が共同生活
する。公募選出の阿部安次
さん(64、北新田)と根津
スミエさん(63、稻荷町)
が世話人。朝夕食、昼の弁
当作りなど食事面を主に支
援。阿部さんは「皆でわい
わい食事でき、喜んで食べ
て貰えるのが嬉しい」とや
りがいを語る。グループホ
ームは十日町市5件、津南
町3件。あんしん組(75
7)5511。